

市 街 地 整 備

1 圏央道インターチェンジ周辺のまちづくり

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の整備に伴い、インターチェンジの開通やアクセス道路の整備による交通利便性の向上が期待されるインターチェンジ周辺地区においては、その立地特性を生かし、環境との共生に配慮した産業を中心とする「新たな都市づくりの拠点」や、市内外の産業需要を支える「新たな産業創出の拠点」の形成に向けて取り組んでいる。

（1）当麻地区

圏央道相模原愛川インターチェンジ周辺の立地特性を生かし、産業を中心とした環境と共生する新たな都市づくりの拠点を形成する。

<主な動き>

- ・市街化区域編入（当麻宿地区土地区画整理エリア、地区計画エリア）（平成24年度）
- ・相模原市当麻宿地区土地区画整理組合設立認可（平成24年度）
- ・当麻谷原、市場、塩田原地区等の早期事業化に向けた検討などの取り組み（平成24年度～）
- ・当麻宿地区土地区画整理事業 工事着工、谷原・市場地区土地区画整理組合設立準備会設立（平成25年度）
- ・市街化区域編入（当麻宿北地区）（平成26年度）
- ・当麻宿地区土地区画整理事業 保留地売却開始、一部進出企業操業開始（平成26年度）

（2）川尻大島界地区

圏央道相模原インターチェンジや津久井広域道路の交通利便性を生かした新たな産業拠点づくりを促進する。

<主な動き>

- ・相模原市川尻大島界土地区画整理組合設立認可（平成24年度）
- ・仮換地指定、本工事着手（平成25年度）
- ・本工事完了、進出企業による土地利用開始（平成26年度）

（3）麻溝台・新磯野地区

産業・みどり・文化・生活等が融合した新たな都市づくりの拠点として、周辺への環境に配慮した都市基盤の整備を進めるとともに、新たな産業用地の創出や良質な住宅の供給に向けた土地利用に取り組んでいる。地区全体の早期事業化に向けて、先行して中央部を第一整備地区として事業推進に取り組んでいる。

<主な動き>

- ・第一整備地区の事業計画（素案）の作成に向けた関係機関協議の実施（平成23年度）
- ・第一整備地区の事業計画（素案）の作成、環境補足調査の実施（平成24年度）
- ・第一整備地区の事業計画（案）の作成、環境影響予測評価の実施、北部地区・南部地区まちづくり研究会の設立（平成25年度）
- ・第一整備地区の都市計画決定及び事業計画決定、土地区画整理審議会の設置、権利者の土地活用意向に係る個別面談を実施し、想定換地案を作成（平成26年度）

（4）金原・串川地区

圏央道相模原インターチェンジの開通等による交通利便性の向上を契機とした津久井地域の新たな産業拠

点の形成に向け、平成23年度に策定した「相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくり基本構想」の実現化に向けて事業手法等の検討を行っている。

<主な動き>

- ・まちづくり基本構想の策定（平成23年度）
- ・基本構想（金原・串川地区）実現化基本調査（平成24年度）
- ・専管組織の設置、実現化方策検討（平成26年度）

2 良好な市街地の形成

魅力ある市街地の形成をめざし、橋本駅、相模原駅、相模大野駅の3駅周辺を中心市街地として、また淵野辺・上溝・小田急相模原・東林間・古淵の5つの地区を中心的な役割を担う市街地として、道路の整備や公共施設の充実、再開発などの基盤整備を積極的に推進している。また、市街地形成の重要なファクターとなる商業の活性化として商業地形成事業の推進にも積極的に取り組んでいる。

(1) 橋本駅周辺整備事業

JR横浜線・相模線、京王相模原線、国道16号、国道129号及び津久井広域道路などの広域的な交通軸の結節点である地域特性を生かしながら、相模原駅周辺との連携のもと、「首都圏南西部における広域交流拠点」にふさわしい都市づくりを進めている。

<主な動き>

- ・橋本駅北口地区第一種市街地再開発事業〔ビブレ(現イオン) 他〕(平成3年度～12年度)
- ・橋本駅北口C地区第一種市街地再開発事業〔ミウイ橋本〕(平成10年度～13年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目地区〕(平成4年度～8年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目東町地区〕(平成13年度～16年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目D地区〕(平成16年度～19年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目24番街区〕(平成19年度～22年度)
- ・都市計画道路橋本駅北口線（第2工区）道路改良事業(平成20年度～25年度)
- ・都市計画道路橋本新町通り線道路改良事業(平成11年度～20年度)
- ・都市計画道路大山氷川線道路改良事業(平成19年度～22年度)
- ・中心市街地活性化基本計画の策定(平成10年度)・TMO構想の認定(平成11年度)
- ・都市拠点総合整備事業[土地区画整理事業](平成11年度～14年度)
- ・地区計画の決定 「橋本駅南口地区」、「橋本6丁目地区」(平成2年度)、「橋本3丁目地区」(平成9年度)、「橋本都市拠点地区」(平成11年度)、「橋本大山町地区」(平成18年度)
- ・国道16号橋本駅南口入口交差点横断地下道整備(平成12年度～)国
- ・国道16号西橋本地区電線共同溝工事(平成13年度～18年度)国
- ・都市再生緊急整備地域「相模原橋本駅周辺地域」指定(平成15年度)
- ・都市再生緊急整備地域〔西-1、2地区〕基盤整備工事(平成19年度)
- ・都市再生特別措置法に基づく民間都市再生事業計画の認定〔日本金属工業相模原事業所跡地開発事業〕(平成20年度～22年度)
- ・都市再生緊急整備地域〔西-2地区〕住宅建設工事(平成20年度～22年度)
- ・都市再生緊急整備地域〔西-1地区〕商業施設建設工事(平成21年度～22年度)
- ・橋本駅南口昇降施設設置事業(平成21年度～22年度)
- ・橋本駅周辺グレードアップ事業（平成22年度）

(2) 相模原駅周辺整備事業

相模原駅周辺では、駅前・西門・中央・市役所周辺を4つの拠点地区として位置付け、本市の中心市街地として商業・業務・行政・文化等各種都市機能の集積を図ると共に、魅力と風格と象徴性のある都心部を形成していくことをめざし、土地の高度利用や魅力ある景観形成などを促進することにより、各地区の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいる。

ア 相模原駅前地区整備の概要

駅前地区では、平成7年度から10年度にかけて、南北自由通路を併設した橋上駅舎の整備や駅ビルの建設、南口・北口駅前広場の整備、自転車駐車場・自動車駐車場の整備などを実施・促進した。平成18年5月に、日米政府間で相模総合補給廠の一部返還基本合意を契機に、平成19年度には相模原駅周辺地区まちづくり構想(さがみはら新都心整備構想)を策定し、平成20・21年度で学識経験者や公募市民からなる「相模原駅周辺地区まちづくり計画検討委員会」において検討を重ね、平成22年3月に「相模原駅周辺地区まちづくり計画」を策定した。

<主な動き>

- ・駅舎橋上化・南北自由通路整備(平成8年度)
- ・駅前ビル建設(平成9年度)
- ・南口・北口駅前広場整備(平成9年度)
- ・ペDESTリアンデッキ整備(平成9年度)
- ・南口自転車・自動車駐車場開設(平成9年度)
- ・北口自転車駐車場整備(平成9年度)
- ・商業・業務ビル建設(平成10年度)
- ・住宅施設建設(平成7年度～9年度)
- ・JR横浜線小山踏切改良事業(平成18年度)
- ・相模原駅周辺地区まちづくり構想(さがみはら新都心整備構想)策定(平成19年度)
- ・相模原駅周辺地区まちづくり計画策定(平成21年度)
- ・市道市役所前歩道整備事業(自転車通行帯)(平成21年度)
- ・市道相模淵野辺道路改良事業(自転車通行帯)(平成21年度)
- ・自転車道走行空間整備基本計画策定(平成22年度)

イ 商業地形成事業の推進

相模原・西門地区では「きらめきとときめきの都心“さがみはら”」を、中央地区では「リパティ・タウン中央」をテーマに相模原市の拠点にふさわしい中心商業地の形成を目指し、魅力あるまちづくりを進めている。

<相模原・西門地区の主な動き>

- ・アーケード西門整備事業(平成元年度～2年度)
- ・まちづくり協定の締結 共和線沿道地区(平成3年度) 氷川線沿道地区(平成4年度)
- ・地区計画の決定(平成8年度) 氷川線地区(都市計画道路相模原駅氷川線沿道)
- ・優良建築物等整備事業〔相模原4丁目地区〕(平成7年度～9年度)
- ・西門地区商業地再生計画の策定(平成17年度)
- ・西門買物公園道路再整備事業(平成22年度)

<中央地区の主な動き>

- ・まちづくり協定の締結 サラダ通り(市道中央24号)沿道地区(平成6年度)
- ・地区計画の決定(平成8年度) リパティ大通り地区(都市計画道路南橋本弥栄荘線沿道)

(3) 相模大野駅周辺整備事業

相模大野駅周辺地区では、「ふれあいと創造のまち 相模大野」をテーマに、市南部の玄関口に相応しい高度な都市機能を備えた個性と魅力にあふれた中心市街地を形成するため、土地区画整理事業、医療センター跡地整備事業や市街地再開発事業及び中心商業地形成事業を進めるなど、活力のある街づくりに取り組んで

いる。

相模大野駅を中心とする約31.9haの区域では、交通の円滑化と宅地の利用増進、都市機能の改善、向上を図るため、市施行による土地区画整理事業を実施し、都市計画道路・駅前広場及び区画街路等の整備を進め、平成12年2月に換地処分が行われた。

また、医療センター跡地(19ha)整備事業は、昭和58年12月に跡地利用計画が決定され、ロビーシティ相模大野の中心区域として平成9年3月に整備を完了している。

さらに、都市型百貨店・複合文化施設や駅ビルという既存の核に加え、まちの広がりや回遊性の確保を狙いとした新たな核として、相模大野駅西側地区市街地再開発事業施設建築物（ポーノ相模大野）が平成25年2月に竣工した。

<主な動き>

- ・市営相模大野立体駐車場開設 主要道路のカラー舗装化(昭和63年度～平成5年度)
- ・優良建築物等整備事業〔相模大野駅前62街区地区〕(昭和63年度～平成4年度)
- ・グリーンホール相模大野の開設、コリドー完成、季節の橋の完成、都市型百貨店の開店、公団専門店街(女子大通り)の開設(平成元年～2年度)
- ・サンデッキ相模大野(跨線橋)の完成(平成2年度)
- ・サンデッキ相模大野(北口ペDESTリアンデッキ)の完成(平成6年度)
- ・相模大野駅ビルのオープン 北口駅前広場の完成(平成8年度)
- ・土地区画整理事業の換地処分の公告、相模大野コリドー街まちづくり協定の施行(平成11年度)
- ・中心市街地活性化基本計画策定(平成13年度)
- ・南保健福祉センターの完成(平成17年度)
- ・県道町田厚木整備事業(平成3年度～)
- ・相模大野駅北口駅前広場エレベーター設置事業(平成20年度～)
- ・コリドー等グレードアップ事業(平成21年度)
- ・相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業〔ポーノ相模大野〕(平成13年度～24年度)
- ・県道町田厚木立体横断施設整備事業(平成25年度～)

3 その他の市街地整備事業

(1) 淵野辺地区整備

ア 淵野辺駅周辺整備の概要

駅周辺地区については、駅利用者の増大や文化教育施設の立地等により、駅前広場・駅南北自由通路拡幅などの整備を行った。

<主な動き>

- ・北口駅前広場及び駅前広場自由通路(オーロラデッキ)の整備(平成13年度～14年度)
- ・駅南北自由通路拡幅整備(平成13年度～14年度)
- ・県道相模原大蔵町再整備事業(平成16年度～21年度)
- ・国道16号共和4丁目歩道橋改善事業(平成16年度～/国)
- ・都市計画道路淵野辺駅山王線道路改良事業(平成19年度～)
- ・淵野辺跨線橋改修事業(平成20年度～22年度)

イ 商業地形成事業の推進

淵野辺地区は、古くから親しみのある商業地として発展してきたが、今後ともこれらの特徴を残し、新しい時代に対応した機能を付加し、若者たちが集う、にぎわいのあるまちづくりを推進するため、「銀河をかけるまち・ふちのべ」をテーマに具体的事業に取り組んでいる。

<主な動き>

- ・都市計画道路相模原駅共和線、淵野辺駅鹿沼線整備事業(平成3年度～5年度)

- ・はくちょう座通り整備事業(平成5年度)
- ・南口駅前広場の整備(平成5年度)
- ・カシオペア通り整備事業(平成6年度～7年度)
- ・こと座・ヘルクレス通り(県道淵野辺駅停車場)整備事業(平成10年度～14年度)
- ・まちづくり協定の締結 淵野辺地区南口街区 白鳥座通り
- ・ふちのベアティブプロジェクトの設立、まちづくり推進連絡協議会の設立(平成12年度)
- ・コミュニティ施設活用商店街活性化事業(病後児保育施設)(平成15年度)

(2) 上溝地区整備

ア 上溝駅周辺地区整備の概要

駅中心核及び主要な交通結節点として位置付けられている駅前広場の整備を行った。

- ・上溝駅前広場整備事業(平成11年度～13年度)
- ・県道相模原大蔵町再整備事業
- ・横断歩道架替工事(県)
- ・市道横山磯部、市道横山田中整備事業

イ 商業地形成事業の推進

上溝地区は市内で最も古くから形成されてきた商店街であり、その歴史や人情等を生かしたまちづくりを進めるため、昭和63年度に策定した街区别整備計画に基づき「歴史とうるおいのある街・上溝」をテーマに各商店街区の特徴を生かしたまちづくりを進めている。

<主な動き>

- ・まちづくり推進連絡協議会の設立(平成元年度)
- ・まちづくり協定の施行(平成5年度)
- ・上溝駅舎・駅前広場の整備(平成10年度～13年度)
- ・県道の電線類地中化工事 県道相模原大蔵町(平成13年度整備済み) 県道相模原愛川(平成18年度整備済み) 県道相模原茅ヶ崎(平成16年度～)
- ・上溝駅前交番の移転・開所(平成15年度)

(3) 小田急相模原地区整備

ア 小田急相模原駅周辺地区整備の概要

小田急相模原駅周辺地区は、本市の地区中心市街地として、居住環境の向上や商業の活性化など、快適でにぎわいのあるまちづくりが求められている。このため、その拠点的な機能を担う駅北口地区では、商業、業務、住宅等複合的な機能を有する一体的な都市空間の形成と、駅前広場、都市計画道路などの都市基盤施設の整備による交通結節機能の強化をめざし、北口A地区において市街地再開発組合による再開発事業が行われ、平成19年11月に施設建築物(ラクアル・オダサガ)が竣工した。

また、隣接する北口B地区についても、市街地再開発組合による再開発事業によりA地区との一体的な整備が行われ、施設建築物(ペアナードオダサガ)が平成25年9月に竣工した。

<主な動き>

- ・小田急相模原駅北口A地区第一種市街地再開発事業〔ラクアル・オダサガ〕(平成13年度～19年度)
- ・北口駅前広場の整備(平成18年度～20年度)
- ・小田急相模原駅自動車駐車場開設(平成19年度)
- 小田急相模原駅北口B地区第一種市街地再開発事業〔ペアナードオダサガ〕(平成19年度～25年度)
- ・県道町田厚木整備事業(平成16年度～)
- ・都市計画道路相模原二ツ塚線整備事業(平成7年度～)
- ・小田急電鉄小田原線小田急相模原1号踏切改良事業(平成18年度～19年度)
- ・市道南台30号整備事業(平成23年度～25年度)

イ 商業地形成事業の推進

小田急相模原駅周辺地区は、座間市域と一体となり、にぎわいのある商業地を形成している。周辺商業

地の開発が進む中で、新しい時代に向けて個性と存在感のある商業地とするため、街区別整備計画が策定され、「躍動のバラエティタウン小田急相模原」をテーマに、各商店街区の特徴を生かした整備が進められてきている。

<主な動き>

- ・相模台通り地区計画の制定(平成2年度)
- ・南口駅前広場の整備(平成2年度～3年度)
- ・南口一番街ショッピングモールの整備(平成3年度)
- ・シンボル道路(相模台通り)の整備(平成元年度～4年度)
- ・まちづくり協定の施行/相模台通り、南口一番街(平成4年度)
- ・サウザンロード相模台道路補修(平成12年度～15年度)

(4) 東林間地区整備

東林間地区は周辺に大規模な商業地が位置している。そこで東林間らしさの創出を図り、魅力ある商業地とするため、昭和62年度に策定した街区別整備計画に基づき、「緑がかおる出会いのまち...東林間」をテーマに東口街区、西口街区の特徴を生かした整備を進めている。

<主な動き>

- ・まちづくり推進連絡協議会の設立(昭和63年度)
- ・都市計画道路東林間線整備(カラー舗装 昭和63年度～平成2年度)
- ・まちづくり協定の施行(平成2年度)
- ・ピッコロ通り(市道上鶴間337号)他6路線整備(カラー舗装・平成2年度～5年度)
- ・コミュニティ道路「東林さくら通り」(市道上鶴間342号)整備(スラローム形状・平成5年度)
- ・商店街街路放送設備の設置(平成11年度)
- ・東林間駅前タクシー乗り場整備(平成18年度)
- ・都市計画道路相模大野線(第3工区)道路改良事業(平成22年度～24年度)

(5) 古淵地区整備

既存商店街、大型店、ロードサイド店等の様々な商業機能を兼ね備えた市内有数の商業集積地であり、個性的で魅力ある商業地づくりを図るため、「いきいきスタータウン こぶち」をテーマに地区中心商業地として相応しい商業地の形成を目指し、ソフト事業を中心とした事業に取り組んでいる。

<主な動き>

- ・古淵地区商店街振興基本計画策定(平成14年度)
- ・古淵地区商店街振興基本計画の推進(エコマネ-実験、ロゴデザイン作成、道路愛称付け、コミュニティビジネス研究、よさこいまつり誘致・実施)(平成15年度)
- ・国道16号電線共同溝工事(西大沼・大野台)(平成13年度～16年度/国)
- ・相模原卸売商業協同組合(相模原総合卸売市場内)の活性化検討会(平成17年度～26年度)
- ・都市計画道路古淵麻溝台線道路改良事業(平成元年度～16年度)
- ・こもれびの橋整備事業(平成10年度～12年度)

4 安全で快適な歩行者空間創出事業奨励金交付制度

魅力あるまちづくり、商業地づくりをめざし、商業地形成事業の一環として、地区計画・まちづくり協定等で定められた地域の、建物の壁面後退の促進を図り、歩行者空間が確保された場合に奨励金を交付する(平成3年度から実施)。

平成24年度	2件	奨励金229千円
平成25年度	0件	
平成26年度	1件	奨励金207千円

5 市街地整備基金

市街地開発事業の財源を計画的に確保し、都市計画決定された市街地再開発事業や土地区画整理事業などの促進を図るため、必要な資金を積み立てる(平成7年度から施行)。

平成26年度末現在高 221,713千円

【都市整備課...1~5】

【当麻地区拠点整備事務所、麻溝台・新磯野地区整備事務所...1】

【商業観光課(経済部)、道路整備課(土木部)...2~3】

駐 車 場 対 策

1 自転車・自動車駐車対策の推進

駅周辺地区における自転車の将来需要予測のもと、公共自転車駐車場の整備推進を行うとともに、適正な自転車利用を促すため、自転車利用者の啓発・指導を行うとともに放置自転車等の移動を行っている。また、駅周辺の交通渋滞の軽減を図るため設置した市営自動車駐車場の管理を行っている。

2 自転車対策の現況

駅周辺の歩道や駅前広場などに放置されている自転車・バイクは、歩行者や他の交通の妨げ、都市美観の阻害、更には防災・消防などの緊急活動の支障となっている。このような状況を踏まえ、駅周辺の交通環境の整備、自転車駐車秩序の確立を図るため、「自転車駐車場の整備」、「放置自転車等の指導、整理の強化」、「自転車利用者の社会的責任の自覚高揚」を3本柱とした自転車対策を行っている。また、自転車駐車場の整備については、周囲の駐車場の需要予測のもと、民間自転車駐車場の整備を促進している。

(1) 自転車駐車場一覧表

市営有料自転車駐車場

(平成26年度実績)

	名 称	収容台数(台)			利用台数(台)		
		自転車	バイク	合計	自転車	バイク	合計
1	橋本駅北口第1	843	169	1,012	311,409	56,518	367,927
2	橋本駅北口第2	1,051	189	1,240	458,324	85,550	543,874
3	橋本駅南口第1	1,334	617	1,951	488,372	214,962	703,334
4	橋本駅南口第2	2,611	48	2,659	914,429	17,875	932,304
5	相模原駅北口	1,700	333	2,033	575,319	42,518	617,837
6	相模原駅南口	1,824	234	2,058	688,348	89,575	777,923
7	矢部駅北口	2,049	328	2,377	546,033	86,237	632,270
8	淵野辺駅南口第1	2,072	74	2,146	861,908	27,648	889,556
9	淵野辺駅南口第2	1,662	13	1,675	679,251	5,400	684,651
10	相模大野駅北口	4,205	343	4,548	1,371,452	100,613	1,472,065
11	相武台前駅北口	419	155	574	103,560	47,610	151,170
12	谷口北口	1,400	107	1,507	453,041	35,803	488,844
13	谷口南口	1,300	103	1,403	456,480	28,179	484,659
14	相模大野駅西側	2,880	70	2,950	1,130,778	35,096	1,165,874
	合 計	25,350	2,783	28,133	9,038,704	873,584	9,912,288

路上等自転車駐車場

(平成26年度実績)

	名 称	収容台数(台)			利用台数(台)		
		自転車	バイク	合計	無料分	有料分	合計
1	橋本駅北口	103	-	103	210,376	22,954	233,330
2	橋本駅南口第1	70	-	70	36,734	51,871	88,605
3	橋本駅南口第2	46	-	46	63,604	11,878	75,482
4	相模原駅南口第1	5	-	5	6,289	626	6,915
5	相模原駅南口第2	52	-	52	76,634	16,423	93,057
6	淵野辺駅南口第1	75	-	75	28,353	10,677	39,030
7	淵野辺駅南口第2	60	-	60	50,438	12,814	63,252
8	古淵駅	94	-	94	49,755	21,912	71,667
9	相模大野駅北口第1	58	-	58	87,822	15,239	103,061
10	相模大野駅北口第2	105	-	105	135,387	30,459	165,846
11	相模大野駅北口第3	128	-	128	148,777	30,177	178,954
12	相模大野駅南口	77	15	92	5,363	19,725	25,088
13	相模大野駅西側第1	53	10	63	33,394	3,066	36,460
14	相模大野駅西側第2	49	0	49	13,667	1,073	14,740
合 計		975	25	1,000	946,593	248,894	1,195,487

自転車駐車場合計

合 計	収容台数(台)			利用台数 (年間延べ台数)
	自転車	バイク	合計	
		26,325	2,808	29,133

(2) 放置防止に関する条例

平成元年12月1日に施行した「自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、駅周辺に放置された自転車等の移動を実施している。

現在、市内14駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定している。

鉄道線別1日あたりの放置自転車等の状況

(各年5月調べ、単位：台)

年	横浜線 [6駅]	小田急線 [4駅]	相模線 [6駅]
H24	340(28)	367(15)	284(12)
H25	278(12)	295(22)	307(11)
H26	204(14)	148(4)	399(37)

()内はバイク 中央本線2駅は未調査

駅別自転車等移動台数

(H26.4~H27.3 単位：台)

駅 前	移 動 台 数		駅 前	移 動 台 数	
	自 転 車	バ イ ク		自 転 車	バ イ ク
橋 本	519	6	相 模 大 野	1,214	5
相 模 原	426	4	小田急相模原	537	6
矢 部	226	3	相 武 台 前	54	2
淵 野 辺	619	10	東 林 間	161	3
古 淵	437	5	そ の 他	584	4
町 田	105	1	合 計	4,882	49

相模湖駅、藤野駅は含まず

(3) 民間自転車駐車場助成制度

駅周辺における駐車需要に応えることを目的として民間自転車駐車場の整備等に助成を行っている。

ア 整備費助成

整備費助成 補助率1/2以内 (平成26年度 0件)

イ 維持管理費助成

補助率 駐車部分の土地及び建物に係る固定資産税及び都市計画税相当10/10 (平成26年度 16件
10,944千円)

3 市営自動車駐車場の管理運営

中心市街地や駅周辺地区における交通渋滞の原因となっている路上駐車 of 解消を図るため、将来の駐車需要予測と民間との適正な分担のもとに整備した市営自動車駐車場の管理運営を行っている。

自動車駐車場一覧

市営自動車駐車場一覧表

名 称	収容台数(台)		構 造 形 式	供用年月日
	自動車	バイク		
相模大野立体駐車場	794	62	地下1階、地上5階、自走式駐車場、ただし、1階は交通施設広場(バス・タクシー乗降場)	S63.11.1
相模原駅自動車駐車場	236	47	地下1階、地上6階、自走式駐車場 ただし、地下1階から地上2階は自転車駐車場	H9.4.6
橋本駅北口第1自動車駐車場	747	-	地下2階、地上11階、自走式駐車場	H12.2.24
橋本駅北口第2自動車駐車場	401	54	地下1階、地上8階、自走式駐車場 ただし、地下1階は自転車駐車場	H13.9.1
小田急相模原駅自動車駐車場	136	-	地下3階、地下2階、自走式駐車場	H19.12.2
相模大野駅西側自動車駐車場	698	51	地下1階、地上11階、自走式駐車場 ただし、地下1階及び地上1階の一部は自転車駐車場	H25.3.11
合 計	3,012	214		

市営自動車駐車場利用状況

(平成26年度実績)

名 称	自動車利用台数(台)	バイク	
		一時利用台数(台)	定期利用台数(台)
相模大野立体駐車場	481,247	957	649
相模原駅自動車駐車場	125,805	1,184	485
橋本駅北口第1自動車駐車場	597,901	-	-
橋本駅北口第2自動車駐車場	462,666	316	395
小田急相模原駅自動車駐車場	114,879	-	-
相模大野駅西側自動車駐車場	637,069	1,605	360
合 計	2,419,567	4,062	1,889

4 駐車場整備地区

駐車場法の定めにより、駐車場の設置を促進すべき地区として指定。

地 区	指定面積 (ha)	備 考
橋本地区	37.5	(指定年月日) 昭和62年3月31日 (変更) 平成 3 年2月28日 (変更) 平成 6 年9月 7 日
相模原・西門地区	139	
相模大野地区	30.5	
合 計	207	

5 駐車場法に基づく届出

駐車場法に定める一定規模以上の路外駐車場で、その利用について駐車料金を徴収するものを設置する者から、路外駐車場の位置、規模、構造設備などの内容に関する届出を受理している。

6 附置義務条例に基づく届出

駐車場整備地区内において、特定の用途に供する一定規模以上の建築物の新築、増築、改築などを行う者は、相模原市建築物における駐車施設の附置に関する条例に基づく届出を受理している。

7 相模湖ふれあいパーク

市民及び相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、市民と相模湖を訪れる者の交流及び憩いの場を提供するため設置。(平成9年4月設置)

(1) 施設概要

構 造	鉄筋コンクリート造2階建
施設内容	駐車場、駐輪場、事務室、公衆便所、公園

(2) 駐車場利用状況等

(平成26年度実績)

	自転車	バイク	自動車
収容台数(台)	16	26	21
一時利用延べ台数	-	-	12,348
定期利用台数	150	167	72

8 藤野駅周辺駐車場

(1) 施設概要

名 称	収容台数(台)		供用年月日
	自動車	バイク・自転車	
藤野駅周辺第1駐車場	14	72	H13. 6.20
藤野駅周辺第2駐車場	-	45	H 4. 2.14
藤野駅周辺第3駐車場	-	42	H 7. 2.27

(2) 駐車場利用状況等

(平成26年度実績)

	藤野駅周辺第1駐車場		藤野駅周辺第2駐車場		藤野駅周辺第3駐車場	
	自転車・バイク	自動車	自転車・バイク	自動車	自転車・バイク	自動車
一時利用延べ台数	5,740	6,474	-	-	-	-
定期利用台数	56	-	37	-	14	-

【都市整備課...1~6】

【津久井地域経済課...7】

【津久井土木事務所(藤野班)...8】